

Viva Arte Vol.2

文化研究講座 ～ 4/27 平松混声合唱団 ～

みなさん、こんにちは！

文化研究講座をより楽しむために、ちょっとした知識やおすすめの曲を学生の視点からわかりやすく紹介します！

今回は、今年度第二回文化研究講座で、平松混声合唱団のみなさんが演奏して下さる

『心の瞳』、『さとうきび畑』、プッチーニ 『誰も寝てはならぬ』 の紹介をします♡

I 音楽は歌から始まった！！

クラシック音楽の源となったのは、中世のヨーロッパで生まれた「グレゴリオ聖歌」だといわれています。

「グレゴリオ聖歌」は、ローマ・カトリック教会で修道士や聖歌隊によって歌われる典礼（神への儀式）聖歌のこと。

歌詞はラテン語で伴奏はなく、単旋律で不思議な抑揚があり、まるでお経を聞いているような印象を受けます。

グレゴリオ聖歌が成立してからおよそ100年経った頃、人々はグレゴリオ聖歌に「ハモリ」を付け始めました。

その後、リズムが工夫されるようになり、単調だったメロディーは、しだいに華やかになっていくのです。



II 合唱コンクールの始まり

みなさんは合唱コンクールがどうして始まったのかを知っていますか？

合唱コンクールの代表ともいえる“NHK合唱コンクール”の歴史をご紹介します。

1932年、日本教育音楽協会の創立10周年記念事業として、“児童唱歌コンクール”はスタートしました。1940年からNHKと共同で主催し、東京・札幌・仙台・名古屋・大阪・広島・熊本の7局の地方予選を通過した学校が、各地の放送局からリレー方式で演奏（生放送）を行い、ラジオで審査されました。

1962年に名称が現在の“全国学校音楽コンクール”となり、1981年には、これまでラジオとFMで放送してきた全国コンクールをテレビで放送することになりました。

中学校の部の課題曲は、2008年度には、アンジェラ・アキさんの『手紙』、2009年度には、いきものがかりの『YELL』といった人気アーティストの曲で、話題となりました。そして、今年度は大塚愛さんの『I♡XXX』が課題曲となっています。



Ⅲ 平松混声合唱団

“平松混声合唱団”は1982年に結成され、今年で28年目を迎える男女の混声合唱団です。合唱団主催者である平松剛一さんは、なんと本学の附属中学校、高校で指導してくださっています。定期演奏会の他、エイベックスなどでのCDレコーディングやテレビ出演など幅広い分野で活躍されていて、文化研究講座では、公演を依頼して今年で7年目（平成15年より依頼）になり、毎年すてきな歌声を聴かせてくださっています。

平松混声合唱団はオリジナルのCDも出されています。

一例をご紹介しますと・・・

『時代』 指揮：平松剛一 伴奏：洲上千里

- 1 時代 2 青春の影 3 言葉にできない 4 Best Friend 5 贈る言葉
- 6 さくら(独唱) 7 秋桜 8 なごり雪 9 涙そうそう 10 愛燦燦
- 11 また逢う日まで 12 瞳をとじて 13 亜麻色の髪の乙女
- 14 翼をください 15 Jupiter 16 瑠璃色の地球

主にJ-POPで、馴染みのある歌ばかりですので聴きやすいと思います。また原曲と合唱曲の違いを新鮮に感じることができるのではないのでしょうか？ この他にもCDを出されていますので、興味のある方は平松混声合唱団ホームページをご覧ください。

平松混声合唱団プロデュース「Harmonized Life」 <http://www.hirakon.com/>

Ⅳ 『心の瞳』

作詞：荒木 とよひさ

1. 心の瞳で 君を見つめれば
愛すること それが
どんなことだかわかりかけてきた
言葉で言えない 胸の暖かさ
遠まわりをしてた 人生だけど
君だけが いまでは
愛のすべて 時の歩み
いつも そばで わかち合える
たとえ あしたが 少しずつ 見えてきても
それは 生きてきた 人生が あるからさ
いつか 若さを 失しても 心だけは
決して 変わらない 絆で 結ばれてる

2. 夢のまた夢を 人は見てるけど
愛すること だけは
いつの時代も 永遠のものだから
長い年月を 歩き疲れたら
微笑みなげかけて 手をさしのべて
いたわり合えたら
愛の深さ 時の重さ
何も言わず わかり合える
たとえ 過去を 懐かしみ ふり向いても
それは 歩いてた 足跡が あるだけさ
いつか 若さを 失しても 心だけは
決して 変わらない 絆で 結ばれてる

引用：音楽之友社編『クラス合唱曲集 ニューヒットコーラス ベストソング 改訂版』

中学校の合唱コンクールの定番なので、歌ったことがある方も多いと思います。実はこの歌、日本航空墜落事故で亡くなった坂本九さんの遺作となった曲で、日本テレビ系列「誰も知らない泣ける歌」で坂本九さんが歌っている曲が紹介されたことがあります。みなさんはこの歌詞のどの部分が好きですか？

V 『さとうきび畑』 作詞・作曲：寺島尚彦

第二次世界大戦では日本で唯一の陸上戦が行われ、惨劇の舞台となった沖縄は、1972年5月15日にアメリカから日本に返還されました。本土復帰してからもうすぐ38年になります。アメリカの統治下にあった頃の沖縄に行くためには、入国手続きを一か月前に申請しなければなりません。当時はハワイに行くほうがビザの取得が早く済み（一週間程度）、気軽に旅行できたそうです。

この歌を唄う歌手の森山良子さんは、この歌の譜面をもらったときに、歌詞が11番もある長い歌だということ（歌うと11分近くかかる）、沖縄での悲しい歴史が描かれていることに驚いたそうです。曲中で66回も繰り返される「さわわ」という歌詞は、沖縄戦の犠牲となった大勢の人たちが眠る、さとうきび畑の上を吹き渡る風の音を表現しているのです。戦争を知らない人たち、若い世代の人たちに戦争の悲惨さを深く伝えるために、この歌はこれだけの長さを必要としました……。

ところで、さとうきびは暖かい地方で栽培されるので、日本では主に沖縄県で栽培されています。黒糖、白糖、グラニュー糖などの砂糖の主原料であることは、みなさんご存知ですよ？ 修学旅行などで沖縄県に行ったことのある方は、実際のさとうきび畑を見たことがあったり、さとうきび刈り体験などを経験したりしたことがあるかもしれません。きっと“さとうきび”と言われればどのようなものか想像できると思いますが、どの家庭にも必ずあると言っても良い程、料理には欠かせない“味の素”の原料がさとうきびだと知っていましたか？

「さとうきび畑」にちなんで、さとうきびを原料とする“味の素”の製造過程をご紹介します。

- ① 原料となるさとうきびを用意
(他にもとうもろこしやキャッサバ(芋)なども原料になります)
- ② さとうきびを絞って、とれた蜜糖を使います
- ③ 発酵菌が蜜糖中の糖分を、グルタミン酸という成分に作り替えます
(グルタミン酸とは、健康を支えるアミノ酸で、母乳にも多く含まれています)
- ④ グルタミン酸ナトリウムの粉状にします
- ⑤ できあがり♪



さとうきび畑

VI プッチーニ 歌劇『トゥーランドット』より「誰も寝てはならぬ」

プッチーニ作曲のオペラ『トゥーランドット』の第3幕で登場するアリア「誰も寝てはならぬ」。アリアとは、オペラやカンタータなどで歌われる旋律的な魅力に富んだ独唱曲のことです。また、器楽曲でも、旋律の美しい抒情的な主題や楽章をアリアと呼ぶことがあります。J.S.バッハ作曲『管弦楽組曲第3番』の「アリア」(「G線上のアリア」と呼ばれています)は有名です。

実は、全3幕5場のうち、第3幕の第1場までを書いたところで、プッチーニはたばこの吸いすぎによる癌が原因で亡くなってしまいます。第2場以降は、弟子であるフランコ・アルファーノの手により、プッチーニのスケッチを

もとに完成されました。初演時、名指揮者のアルトゥーロ・トスカニーニは、第3幕の第1場で音楽を止め、聴衆に向かって「マエストロは、ここで筆を置きました」と述べて舞台を去ったため、幕が下ろされたといわれています。全曲が演奏されたのは、初演2日目の公演でした。

この物語は中国の北京城下が舞台。城にいる美貌のトゥーランドット姫は、求婚してくる他国の王子たちに三つの謎を出しては、それが解けないと首を刎ねるといふ蛮行を繰り返していました。放浪していたカラフ王子は姫の美しさに魅せられ、三つの謎に挑戦します。そして見事に解いて結婚を迫りますが、嫌がる姫に対し、「夜明けまでに私の名を当てたら、死んでもいい」と条件を出しました。姫側は夜を徹して調べますが、誰も彼の名を知りません。やがて王子は姫への愛と勝利を確信して、有名なアリア「誰も寝てはならぬ」を歌うのです。

2006年トリノ・オリンピック女子フィギアスケートで金メダルを獲得した荒川静香選手がフリーの演技で使用し、大きな注目を集めました。実は、彼女が得意のイナバウアーを披露する瞬間に、曲のサビがくるように計算されていたのです。

プッチーニは他にも長崎が舞台となっているオペラ『蝶々夫人』や『ラ・ボエーム』等たくさんのオペラを作曲しており、今日でも盛んに上演されています。

いかがでしたでしょうか？
ご意見・ご感想、リクエスト等ありましたら、
viva_arte_2010@yahoo.co.jp にメールください！！
お待ちしております♪
担当：現代教養学科 3年 Viva Arte 編集部

<参考文献一覧>

宮本英世『マエストロ宮本のおもしろクラシック100』（平凡社、2000年）

野本由紀夫編著『クラシックの名曲解剖』（ナツメ社、2009年）

音楽之友社編『作曲家別名曲解説ライブラリー ②4 ヴェルディ/プッチーニ』（音楽之友社、2004年）

寺島尚彦『さとうきび畑 ざわわ、通りぬける風』（小学館、2002年）

NHK全国学校音楽コンクール <http://www.nhk.or.jp/ncon/> （閲覧日：2010/4/22）

音楽之友社編『クラス合唱曲集 ニューヒットコーラス ベストソング 改訂版』（音楽之友社、2007年）

平松混声合唱団プロデュース「Harmonized Life」へようこそ <http://www.hirakon.com/> （閲覧日：2010/4/22）

【味の素KK】 あしたのもと AJINOMOTO <http://www.ajinomoto.co.jp/> （閲覧日：2010/4/22）

